

★1月の学校公開が中止だったため、各学年の様子をお伝えします。

1年生

「体験から得られるもの♪」

国語「たぬきの糸車」。1度は聞いたことのある教材だと思います。

この物語の世界は、現代ではなく、昔の時代です。言葉、道具などは、聞きなれないものが多いです。そこで、学習の始めにみんなで言葉の意味や物語の雰囲気、道具等を確認しました。写真や絵を用いて説明したり、みんなで一緒に考えたりしました。

でも、分からないものが…「糸車」。言葉や写真で説明されても、実際の雰囲気が浮かばない…そこで、本物の糸車を使う体験をしてみることにしました！実際にやってみると、登場人物の気持ちや行動をもっと豊かに想像できます。

塩のからさは100の言葉で説明するよりも、1度舐めてみた方が分かる。

リモートでつながったり、インターネットで調べたりできる時代だからこそ、本物の体験を。



2年生

「冬がいっぱい」

国語「冬がいっぱい」では、冬を感じるものを題材に、カードに書きました。教科書には、「みのむし」「せんりょう」「さざんか」「つばき」「すいせん」「ひいらぎ」など、いくつか絵が描かれています。しかし子ども達は本物がよくわからず、実際に校庭を見て回りました。中井門の辺りに「せんりょう」、落合の里に「ひいらぎ」、花壇に「すいせん」と、学校にもありました。また、学校裏の水がたまった鉢には氷がはっていたり、花壇にわずかでしたが霜柱ができていたり。寒くならないとなかなか見ることのできないものも、見ることができました。カードには、各自が感じた冬をいっぱい書くことができました。



すいせん



落ち葉が氷の中に

3年生

「こつこつと粘り強く」

算数の時間に「かけ算の筆算」の勉強をしています。2学期に学習した、かける数が1ケタの筆算に加え、今回新たに2ケタ×2ケタや3ケタ×2ケタといった筆算に挑戦中です。かけられる数が大きくなる分、計算や繰り上がりが今までより多くなり、初めこそ「どうやるの?」「できてるか自信ないな。」など、苦戦する声もありましたが、粘り強く取り組み、子ども達もだいぶ自信がついてきました。

3年生の学習もいよいよ終盤に差し掛かり、どの教科もより難しい内容の学習が増えています。4年生に向けて、力をより伸ばせるよう、引き続き毎回の学習を大切に取り組んでいきたいと思っています。



4年生

「とめ・はねに気を付けて」

日本には、正月2日に書き初めを行う慣わしがあります。そのため、毎年本校では書き初めを行っています。その年の心構えや抱負などを書き記し、精進するとうまくいくと言われているそうです。

4年生は、1月19日に席書会を行い、「元気な子」をとめ・はねに気をつけながら力強く書くことができました。席書会では、姿勢を正して文字と向き合う良い機会です。普段の学習でも文字と向き合い丁寧に書く態度を育てていきたいと思っています。

